



視点1：学 ぶ

<1> いつでも どこでも 誰でも 学べる環境整備

生涯学習社会の実現には、『いつでも どこでも 誰でも』学べる環境整備が必要です。

(1) いつでも①

いつでも学びたい時、学びたくなった時に学べる環境整備を図っていきます

【生涯をとおして】

生涯をとおして学び続けることが生涯学習です。幼年期、少年期、青年期、壮年期、向老期、老年期のステージごとに社会性や身体的能力など取り巻く環境・状況が異なります。それに伴い求めること（要求課題）や解決したいこと（生活課題）、また社会から求められるもの（必要課題）が変化していきます。それらの課題に合わせた学びの場の創出を行っていきます。



市民大学

行動計画

- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ④ “学ぶ^{ひのびと}日野人” 応援！補助金
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

- （市） 各種啓発講座（健康・環境・子育て・防災など）市民体育大会、市民文化祭、小中学生対象事業（文化・芸術・スポーツ等）
- （教育委員会） 高齢者対象事業（生涯現役事業、三世代交流事業、健康体操ほか）、壮年向老期事業（時事教養講座、市民大学、社会参加誘因事業、健康維持保全教室等）、青年対象事業（料理・語学教室、文化・芸術・スポーツ教室等）、お母さんの保育付き学び舎（子育て教室、リフレッシュダンス、ジェンダー等）、図書・雑誌・新聞・CDや電子情報の収集・提供、予約・リクエストサービス、子供向けおはなし会（絵本の読み聞かせ・素語りなど）、保育園・学童クラブへの出張おはなし会、保育園招待おはなし会、子供読書活動推進事業（本の紹介講座、おはなしピクニック等）、特別展・企画展の開催、講座・講演会の開催、歴史・民俗・自然に関する問合せへの対応、家庭教育事業（講演会・学級開設）、ひの21世紀みらい塾、IT学習
- （民間） NPO法人市民サポートセンター日野の講座（市民向け、保護者向け、赤ちゃん向け）、（公財）ひの社会教育センター、公益社団法人日野市シルバー人材センター

(1) いつでも②

いつでも学びたい時、学びたくなった時に学べる環境整備を図っていきます

【年間をとおして】

一年をとおして、その折々でしか学べないこともあります。植物や野鳥観察、郷土芸能や稲作・野菜作りなどの農業体験などが例にあげられます。また、じっくりと1年以上かけて行う音楽活動や語学活動もあります。

年間をとおして「ムラなく」学習の機会を提供するとともに情報を提供していきます。



援農市民養成講座 日野市農の学校

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） ママパパクラス、すくすくクラブ、自然体験広場、伝統文化子ども教室、援農市民養成講座「日野市農の学校」、雑木林ボランティア講座、市民の森ふれあいホールスポーツ&カルチャー教室

（教育委員会） 田んぼの学校、菊づくり教室、旬の料理教室、日野産大豆を使った豆腐作り教室、春休み小学生集まれ！子どもわくわく学習術、夏休み小学生集まれ！子どもわくわく学習術、テーマによる図書の展示、子ども読書の日おはなし会、しめ縄づくり、昆虫を観察・採集して標本を作ってみよう！、石田散葉づくり、講座イベントガイド、サークル団体施設ガイド

（民間） （公財）ひの社会教育センター、実践女子大学生涯学習センター、平山台文化スポーツクラブ

(1) いつでも③

いつでも学びたい時、学びたくなった時に学べる環境整備を図っていきます

【1日をとおして】

グローバル化やICT（情報通信技術）の発展の影響もあり、24時間情報が飛び交う社会となっています。それに伴ない生活様式も昼夜の区別がないような状況もあります。市内公共施設の使用予約も電子予約システムの導入により早朝から深夜までの申請ができるようになっていきます。

国の内外の出来事もインターネット利用により瞬時に得られるようになりました。そこで今後、ICT（情報通信技術）を活用し、学びの機会・相談・検索など、時間的制約から学びに支障をきたしている方々に向けてサービスの充実を図っていきます。



Hi know(地域活動・イベント情報サイト)

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

- (市) HPデジタルミュージアムの充実、日野市公式ツイッター（新選組のふるさと歴史館、エコアラ・エコクマ）
- (教育委員会) 施設予約システムによる部屋の利用申請、公民館独自のホームページによる情報発信、公民館ツイッター、図書館HPからの資料検索と予約申込、図書館HPにリンク集の掲載、電子資料の提供、オンラインデータベースの利用、電子申請による本の予約、郷土資料館HPの充実、講演会記録のWEBでの公開（※）
- (民間) Hi know！（地域活動・イベント情報サイト）、実践女子大学生涯学習センターHP、ケーブルテレビによる情報発信

(2) どこでも

学習や活動内容に適合した学習施設づくりを図っていきます

自宅での個人学習はもとより図書館での読書、高校・大学などの公開講座、またはNPOや民間団体の学習会など、ありとあらゆるところで学習が行われています。電車内でも電子図書を利用している人を見かけるようになりました。

市内各所にある文化・スポーツの公共施設でも様々な活動が行われています。今後、さらに時代の推移に合わせてその学びや活動も多岐にわたり、その動きに適合した利活用できる施設が求められます。そこで、公共施設の活用状況の確認を行い、目的に沿った施設の改変や利用方法の見直しを行うとともに、必要に応じ相乗効果を加味した複合施設化を検討していきます。必要な備品類の整備も図っていきます。また、市内の高校・大学・民間企業とも連携を図り、市民の学習の場の拡大に努力していきます。



つかつかウォーク(市内の塚めぐり)



豊田駅北交流センター 生涯学習室

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立

【関連する事業と今後の取組事例(※)】

(市) 公共施設白書、大学との包括協定の締結、文化施設開放、体育施設開放、ひの煉瓦ホール(市民会館)、七生公会堂、東部会館、市民の森ふれあいホール、日野宿本陣、七ツ塚ファーマーズセンター、ゆざわ・ここからネット、児童館、平山台健康・市民支援センター、南平体育館

(教育委員会) インターネット活用に関する講座、市民の森ふれあいホール・交流センター等の公共施設を活用した出張公民館事業、京王線沿線七市図書館相互利用協定、大学との図書館相互利用協定の締結、中央館・分館・移動図書館によるサービス、郷土資料館収蔵展示室等のリニューアル、中学生の職場体験、大学からの博物館実習生の受け入れ、学校対応事業(学校への出前事業、民具やパネルの貸出)、豊田駅北交流センター(IT学習)、復原住居

(民間) シルバー人材センター教養講座、大学公開講座、企業所有グラウンド

(3) 誰でも

良いまち 良い社会の創造は市民力によります

そのためにはあらゆる人々が自らの意思により学び・活動し、社会に参画することが必要です

日野に住まわれている方々が自らの意思により学習活動を積極的に行い、社会参加できるよう努めていきます。また、10年後の65歳以上の市内の高齢化率は約26.7%になります。それとともに公共施設等も視力・聴力や足腰の衰えなどに適したバリアフリー化（障壁除去）が求められています。生涯学習の場においてもまた同様です。学びの環境のバリアフリー化（障壁除去）を図っていきます。



移動図書館 ひまわり号

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） 公共施設バリアフリー化の促進、手話講習会、国際理解交流事業、四者協の取り組み（児童相談所、学校、民生・児童委員、子ども家庭支援センター）

（教育委員会） 障害者青年・成人学級、障害児少年学級、外国人のための日本語教室、お母さんたちを対象とした保育付講座、移動図書館の巡回貸出、来館が困難な方への宅配サービス、大活字本、朗読CD、音訳図書・点訳図書、DAISY図書の提供、電子図書導入の検討、外国語資料の提供、デイサービスによる見学（特に民具）、障害者訪問学級、保育ボランティア、日野市立小中学校PTA絡協議会と行政との懇談会、世代・障害・国籍を超えた交流イベントの実施（※）、豊田駅北交流センターの活用

（民間） 国際交流協会、子育てサークル、社会福祉協議会（手話講習会・福祉体験講座など）

<2> 学びに関する様々な情報提供・相談機能の充実

生涯学習社会の実現には、学びたい人・教えたい人・学びあいたい人などが双方向で情報を受発信し、生涯学習が普及・啓発されることが望まれます。

市民の学びを促進させるために「学ぶ機会」の情報提供をあらゆる手段で行いつつ、生涯学習活動の総合案内窓口を教育委員会生涯学習課と公民館に設け、ポータルサイト(インターネット上で必要な情報を得るために最初にアクセスするような各種の利便性を備えたサイト)を開設します。

(1) 生涯学習の普及・啓発のための情報提供

あらゆる媒体を活用し「必要な情報」を必要な時に受け取れる仕組みを構築します

現在、教育委員会では公民館や郷土資料館を中心に100以上の講座や講演会・学習会を実施し、市でも健康やスポーツ、環境や農業、人権など、数多くの市民対象の教室や講座を開催しています。そして、NPOをはじめとする市民団体による学びの機会や大学・公益財団法人による学びの場も数多くあります。しかし、①伝達が散漫・緩慢 ②受信者にわかりにくい送信者サイドの伝達 ③発信方法・手段がバラバラ等、いくつもの課題があります。

そこで、様々な機関が多様な方法で発信している生涯学習に関する情報を整理し、市民のみなさんが真に必要としている情報がしっかりと伝わるように情報の整理整頓と一元化を図ります。また、その情報を受け取る側の状況に応じて受け取りやすい方法を検証し、それぞれのニーズに合った多様な提供方法を検討します。

行動計画

① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設

【関連する事業と今後の取組事例(※)】

(市) 広報ひの、市HP、HPデジタルミュージアムの充実

(教育委員会) 講座イベントガイド、サークル団体施設ガイド、公民館だより、ツイッターによる情報発信、公民館HP、館報「ひろば」・図書館HPによる情報発信、ポスター掲示・チラシ配布の場の提供、郷土資料館HP、webでの講演会等の記録公開(※)、生涯学習電子案内版(※)、イベントカレンダー電子版、各種案内チラシの電子化(※)

(民間) Hi kouw! (地域活動・イベント情報サイト)、(公財)学術・文化・産業ネットワーク多摩、多摩信用金庫広報「たまちいき」、ケーブルテレビによる情報発信

(2) 相談窓口の整備と学習ニーズの把握

学びたい・学びあいたい市民の水先案内人となるよう相談窓口を設置します

公民館基本構想・基本計画の策定の際に行った意識調査では、「学びたい」「地域の役に立ちたい」と考える人の割合は高い反面、実際に学び・活動をしている人の割合とは大きな差異が生じています。

何かしたいが、その「やり方・学び方」が分からず、立ち止まっている人が多く存在しているようです。気軽に相談し、学びや活動のきっかけをつかめるような提案をする相談窓口を生涯学習課と公民館に整備します。また、メール相談などもできるように検討していきます。

相談窓口は広聴の側面も有します。いただいた意見や要望を施策に反映させるとともに、相談での対応などを通じて、双方向の情報交換を行うことで、社会状況に応じたニーズの掘り起こしを行っていきます。



日野市社会福祉協議会 ボランティアセンターの皆さん

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催

【関連する事業と今後の取組事例 (※)】

(市) 消費生活相談室、子ども家庭支援センター、市民相談窓口、地域型児童館、地域包括支援センター

(教育委員会) 相談窓口の整備 (※)、ホームページでの公民館利用サークルの紹介、ジャンル別のサークル連絡会の整備、サークルオリエンテーション、電子申請によるレファレンス受付、読書案内 (調べ学習、読み聞かせのための本の紹介、テーマに沿った展示での貸出など)、個別相談対応、郷土資料館HPの充実、資料集・調査報告書の刊行、民間団体等との相互リンク (※)

(民間) 社会福祉協議会ボランティア・センター、ひの市民活動団体連絡会、団塊世代ひろば

事例紹介 ①

「出前いっちょう」（郷土資料館）

～日野市の歴史・文化・自然を物語る資料をお届け！～

本事業は、市域の歴史や文化・自然を物語る実物資料に、児童・生徒が会う機会を提供することを目的に平成17年から始まりました。毎年市内全域の小学校と一部の中学校が利用し、年間約2500人が受講しています。内容としては、6年生歴史での火起こし体験や土器等に触れる授業、5年生米作りでの昔の農具を使った脱穀体験、3年生の昔の道具とくらし等、見て触って体験してみる場として、学校教育で大いに活用されています。

この舞台で活躍しているのが程久保ボランティアです。

もとは資料館内で勉強する様々な学習団体の方々でした。彼らは資料館での「学び」を通して必要な技能を身につけ、その成果を生かして学校教育の場で活躍し、郷土資料館の活動を支えています。また同じく資料館で活動する勝五郎生まれ変わり物語探究調査団は、学校や地域へ出向いて、その成果を語り伝えています。



事例紹介 ②

「日野ヤングスタッフ “ブックパレード”」（図書館）

～読書の魅力を同世代に発信～

市内の高校生・大学生を中心メンバーとした「日野ヤングスタッフ」は、平成21年（2009年）に文部科学省の助成を受け、子ども読書地域スクラム事業として活動を開始しました。自分たちと同じ世代の人たちに向けて「読書の魅力」を発信し、「図書館をもっと利用しよう」と呼びかけています。

現在は、おすすめ本のリスト「青春BOOKWORM」の作成や、図書館のヤングコーナーでのおすすめ本の展示、読書の面白さを中高生に向けて語るイベント「ブックパレード」が活動の中心です。

今年度は、三沢中学校1年生の国語科の授業の一環として、「日野ヤングスタッフ ブックトーク in 三沢中学校」を行い、3名のメンバーがそれぞれのおすすめの本を紹介しました。



熱のこもった作品の朗読、元気なクイズ形式の作品紹介、飄々とした語り口の読書論等々、それぞれの個性光るトークが、中学生の本への興味を沸かせました。こうした活動が、読書の楽しさの発見や知らなかった本との出会いのきっかけになって、「本好き」の青少年の人たちがさらに増えていくことを願っています。



視点2：つながる

<1> 顔が見えるネットワークづくり

日野市には多種多様な活動を行っている市民・市民団体が存在しています。また、民間の生涯学習団体や大学・NPO等もそれぞれの目的・立場で活動を行っています。これらが協働・連携することで新しい発想を生み出せるネットワークを構築します。

(1) 学びをキーワードにしたまちづくり

従来の社会教育行政の枠を超え、広範で多様なネットワークづくりを行います

市内のNPOや各種市民団体・民間企業・大学などが、それぞれの立場と方法で生涯学習活動を活発に行っています。今後さらに活動を充実させていくために、学びを提供する側の活動が最大限効率的に機能し、また、団体同士が出会い、情報交換をする場を創設することでそこから自発的・自然発生的なコラボレーション（共同作業）による新しいサービスの創出を目指します。

行動計画

- ② ひの^{まなびと}学人ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

(市) ヘルスケア&ウェルネス交流会、和モダンテイストのまちづくりプロジェクト、水辺のある風景日野 50 選事業
日野産大豆プロジェクト

(教育委員会) 公民館三者懇談会、公民館料理・陶芸連絡会、郷土資料館学習団体との連携・協働、調整、民間団体・企業などの実施している講座・イベントなどの情報収集（※）

(民間) 社会福祉協議会（ネットワーク会議）、ひの市民活動団体連絡会、水と緑の日野・市民ネットワーク、（公財）学術・文化・産業ネットワーク多摩

(2) 支え合い 暮らしやすい まちづくり

生涯学習を契機とする地域コミュニティの再生と絆づくりを行います

現代社会における少子高齢化や核家族化や近所付き合いの希薄化により、今まで地域コミュニティが果たしてきた役割がうまく機能していない部分が見受けられます。市民一人ひとりが生涯にわたる学習を通じ自らを豊かにするとともに、現代社会における地域での諸問題の解決を図り、かつ学習を通じた新たな「知縁」（学習を介した人と人のつながり）によるつながりを創出します。

また、東日本大震災以降、従来にも増して「防災」に対する意識も高まっていることから、学校・地域・行政による連携を充実させます。



学校支援ボランティア推進協議会事業

行動計画

- ② ひの^{まなびと}学人ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） 自治会における環境・防災学習への支援、学校・地域・行政の協働による防災訓練、子供や高齢者の見守り意識の醸成、地域懇談会、環境フェア、自主防災・自主防犯組織への支援、地域型児童館、ファミリーサポートセンター

（教育委員会） 公民館利用者交流会、部門別サークル連絡会、地域リーダーの育成、アートフェスティバル、公民館まつり（中央・高幡台）、大学との図書館相互利用協定の締結、ポスターやチラシ配布の場の提供、青少年ボランティア（ひのヤングスタッフ）による読書推進活動、おはなし会、読み聞かせ入門講座、日野宿発見隊、周年記念行事、郷土資料館まつり、どんと焼き、たきび祭、真慈悲寺現地イベント、交流会、学校支援ボランティア推進協議会事業、学校体育施設の自主管理運営委員会、各種イベントを通じた三世代交流（※）

（民間） 自主防災・自主防犯の活動、大好き日野市民フェア、（公財）ひの社会教育センター、ふれんどさん事業、社会福祉協議会

(3) 個人・団体への各種支援

あらゆる個人 あらゆる団体が主体的に学び・活動していくための支援を行います

現代社会においては、一生におけるそれぞれの段階（幼年期、少年期、青年期、壮年期、向老期、老年期など）に応じた支援や各種団体への活動支援、学習困難者（時間的・経済的・身体的）への支援など個人・団体への多様な支援が求められています。求めに応じた活動資金の援助や公的機関・民間機関による助成制度の情報収集を行い、それらの提供や人的支援・講座提供などを行います。



家庭教育学級 講演会

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ④ “学ぶ日野人^{びと}” 応援！補助金

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市）文化団体補助金、子ども会育成補助金、ワークライフバランスの啓発事業、健康づくり推進員

（教育委員会） 地域デビューなど各種講座、本・CDの個人・団体（保育園・幼稚園・学童クラブ）貸出、読書案内（調べ学習、読み聞かせのための本の紹介、テーマに沿った展示での貸出など）、図書館レファレンスサービス、読み聞かせ入門講座、障害者サービス、おはなし会、小学校3年生へ学校訪問（図書館ガイダンス本の紹介）、移動図書館、郷土資料館レファレンスサービス、郷土資料・パネル等の貸出、助成金情報の収集（※）、保育ボランティアの充実、家庭教育学級の実施、障害者訪問学級

（民間） ひの社協だより（助成金情報）、ボランティアインフォメーション

<2> 教えあう 交流する仕組み・居場所づくり

生涯学習社会の実現には、学んだ成果を財産として個人・団体が交流する仕組みを構築し、市民一人ひとりが自分の“居心地のいい”居場所をもって生活できることが求められます。そのために従来からある多種多様な人々が交流する仕組みを整理・融合します。

(1) 多様な交流の促進

居心地のいい居場所を作るため、各種交流を促進し、新たな生きがい・仲間作りを行います

学んだ成果を活かして豊かで文化的な生活が送れるようにいろいろな交流を促進します。

異世代交流・国際交流・地縁・知縁（学習を介した人と人のつながり）による交流をするために、市民同士で自主的・主体的に活動できるような環境を醸成していきます。



公民館まつり

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） 日野市文化協会・（一社）日野市体育協会との連携、国際交流協会との連携、ひのっちへ参加する仕組みの構築、自治会のお祭りなどへの支援（三世交代）、子育てサークルとの連携、子育てひろば事業を通じた異世代交流、援農市民養成講座「日野市農の学校」、健康づくり推進員

（教育委員会） 公民館講座受講者による自主グループの結成支援、高齢者市民企画会議、ひのヤングスタッフ、読書会、日野宿発見隊、市民参加型の共同調査研究、郷土資料館学習団体・個人への学習支援、豊田駅北交流センター（IT学習）

（民間） 平山台文化スポーツクラブ、ふれあいサロン、平山台交流の会、なお「土曜のひろば」遊学会

(2) ふるさと意識のデザイン

住み続けたいなる「ふるさと日野」への意識をデザインします

歴史と文化に育まれたみんなの“ふるさと”として、市民一人ひとりが「日野市の独自性」を学び、意識し活用することで郷土愛を育みます。市民ボランティアとして活躍できる大人が、身につけた学習成果を未来を担う次世代に伝え、愛着を持って住み続けられるふるさと日野のまちづくりを市が進める「人口バランス・定住化促進戦略」に沿って進めていきます。



新選組まつり



日野宿本陣

行動計画

- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ④ “学ぶ^{ひの}日野人” 応援！補助金

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） 新選組ガイドボランティア、50年ビジョン関連事業（水辺の50選）、あさかわ写真コンクール、平山季重まつり、新選組まつり

（教育委員会） 地域を知るためのまち歩き講座、ひの歴史講座、日野市の地域資料の作成・収集・保存・データによる保存、日野宿発見隊の活動、HPにレファレンス資料を掲載し地域資料を紹介、郷土資料館各種企画展、特別展、出張展示、出前いっちょ授業（学校対応）、郷土資料・各種パネルの貸出、勝五郎生まれ変わり物語探究調査団、七生丘陵の自然とくらし探訪、日野の古文書を読む会や日野の昭和史を綴る会との協働、文化財を活用したまち歩き（つかつかウォーク）、復原住居の活用、近代史にスポットを当てる調査・研究等の実施（蚕糸試験場、日野煉瓦ほか）

（民間） 地域のお祭り、日野「青春」映画祭り、うまいもん図鑑、ひのまちバルフェスタ、仲田の森遺産発見プロジェクト、のびゆく日野市写真コンクール、日野市観光協会、多摩らび、和モダンテイストのまちづくりプロジェクト、日野新選組ガイドの会、スプリングフェスタひの、日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト

事例紹介 ③

「公民館まつり」(公民館)

～出会いが広がる市民のおまつり～

中央公民館最大のイベント「公民館まつり」は、今年で28回目を迎えます。

このまつりは昭和61年(1986年)7月に「中央公民館20周年記念事業」として約一週間にわたって行われたイベントをきっかけに、平成元年(1989年)から毎年行われ、最近では5月開催の行事のひとつとして定着してきています。

「公民館まつり」は公民館を利用するサークル・団体が一年を通じて学びあった成果を展示・体験・ステージなどで発表する場で、例年たくさんの来場者でにぎわっています。高幡台分室でも秋に「分室まつり」を開催しており、ともに市民の手による出会いの場の広がるイベントとして親しまれています。



「あなたも一度、参加してみませんか」

事例紹介 ④

「学校支援ボランティア推進協議会事業」(生涯学習課)

～学校を支える地域の応援力～

本事業は、地域の志のある人たちが学校と一体となって、学校の教育活動を支援する取り組みで、平成20年から開始されました。日野市では、主に「学習支援(本の読み聞かせ等)」「環境支援(花壇の整備等)」「行事支援(運動会の手伝い等)」「登下校の見守り」について、地域の方の中から委嘱させていただいた学校支援コーディネーターさんが学校と地域の力をマッチングしていただいています。

現在、市内小学校17校で学校支援ボランティアの活動を通じて、地域の方々の生涯学習・生きがいつくりにも資するとともに、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで“ひのっ子”を育てています。

一方、はじめは各学校ごとに行われる取り組みが中心でしたが、学校間の交流も進んできており、ある学校のボランティアグループが別の学校に出向いて読み聞かせを行うなど、新しい「つながり」が生まれ、学校を支援するという当初の目的と共に様々な相乗効果が表れてきています。



読み聞かせ活動



視点3：行動する

<1> 自己実現・社会還元の場合や情報提供

生涯学習社会の実現には、学んだ成果を適切に評価され生かせることが重要です。市民一人ひとりが学習したことを資源として自己実現を図るとともに、そのスキル（現場対応力）を社会へ還元し、いきいきと輝いて人生を歩むためのフィールドと情報を提供します。

(1) 学校・家庭・地域の連携

学校・家庭・地域の連携を強化し、『地域の教育力の向上』を図ります

学んだ成果を活かす場所を学校・家庭・地域の連携の中で創出します。その一環として学校支援ボランティア推進協議会事業の充実を図り、それぞれのニーズにあった活動をマッチングできるように努めます。また、家庭や地域においても必要とされる課題を整理・整頓し、それを解決するための学習を行います。そうすることで地域の力を向上し、現代社会における諸課題の解決を図ります。

行動計画

- ② ひの^{まなびと}学人ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

(市) ひのっち、認知症サポーター養成講座、援農市民養成講座「日野市農の学校」、雑木林ボランティア育成、手をつなごう子どもまつり

(教育委員会) アートフェスティバル（高校生・市民ボランティア、大学生インターンシップ受入）、防犯・防災対策や地方自治に関する講座、市民講師の発掘・活用・紹介、三代交流事業、職場体験受け入れ（小・中・高）、夏休みジュニアスタッフの実施、小学校3年生へ学校訪問（図書館ガイダンス本の紹介）、市民著作の収集・提供・保存、司書教諭との連絡会での情報交換、郷土資料館関係の人材の紹介、中学校の職場体験受け入れ、博物館実習生の受け入れ、学校支援ボランティア推進協議会事業の充実（※）、小中PTA活動の支援、活動場所の提供や紹介システム（※）、家庭教育学級の推進（※）

(民間) 自治会の盆踊り、地域のフリーマーケット、幼稚園のバザー、市内企業のお祭り、多摩平ふれあい館のサークル同士の発表会、育成会ウォークラリー、市民フェア、市内企業とのコラボレーション（職場体験、CSR活動）、子育て関連NPO、地域の見守り・声かけ、日野市商工会による若手エンジニア育成、日野市立小中学校PTA協議会

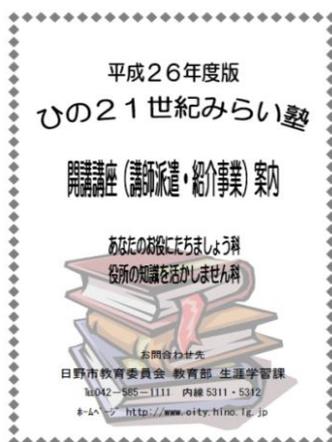
(2) 人材の発掘と育成

市民講師の紹介・派遣事業を再構築し、日野市の市民力の活用を図っていきます

日野市の豊富な人材・団体の既存の情報を整理するとともに、新しい人材の発掘を行います。

それとともに市民及び市民団体のニーズに合致する講師情報の蓄積及びマッチングを図るため、市役所内外で行われる講座の講師情報の収集を行います。

また、2020 東京オリンピック・パラリンピックでの五輪ボランティアを目指す方々への情報提供及びその育成・支援を行います。



ひの21世紀みらい塾

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの^{まなびと}学人ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例(※)】

(市) 女性防災リーダー育成講座、援農市民養成講座「日野市農の学校」、日野市青少年委員、日野市地区青少年育成会、五輪ボランティアの育成

(教育委員会) ひの市民大学における市民講師の発掘、サークルデータの蓄積、サークル活動・地域活動のためのファシリテーター養成講座、講師情報に関する冊子等の配布、郷土資料館講座・学習会開催に伴う人材の発掘及び育成、ひの21世紀みらい塾の再構築(※)

(民間) NPO法人市民サポートセンター日野の家事・料理講座・虐待予防講座・保育講習会など、日野まちゼミ(商工会) NPO法人日野子育てパートナーの会の子育て支援者養成講座、社会福祉協議会(市民講座)

(3) 学びの成果を生かす

市民の学びの成果や培った経験・特技・知識を人づくり、まちづくりに生かします

教育基本法第3条（生涯学習の理念）には「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければならない。」とあります。

自らの学びの成果。仕事や生きてきた中での様々な経験。生きる知恵や多くの知識。これらを適切に生かすことが自らにとっても、まち・社会にとっても必要です。

市内にはそれらの力を発揮できる多くの場があります。しかしながらそれらはあまり知られることもなく、またあまりに多岐にわたるため、需給がうまくマッチしているとはいえません。

一朝一夕には作り出せない知的財産ともいべきこれらの宝を活用する仕組みづくりを行っていきます。



外国人のための日本語教室

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催
- ④ “学^{ひの}ぶ^{ひと}日野人” 応援！補助金

【関連する事業と今後の取組事例（※）】

（市） 地区青少年育成会、健康づくり推進員、健康体操サポーター、援農市民養成講座「日野市農の学校」、地域活動支援センター事業、食育推進活動、日野市文化協会（文化団体）事業・活動、（一社）日野市体育協会（体育・スポーツ団体）事業・活動

（教育委員会） 公民館講座企画委員活動、日本語教室講師、障害者青年・成人学級、ひのっ子シェフコンテスト、心の健康を考える講座、読み聞かせボランティア事業、日野宿発見隊活動、各種テーマ別展示活動、古文書解読、各種調査・事業補助、デイサービスによる見学（主に民具）、見学会や観察会、学校支援ボランティア推進協議会事業、ひの21世紀みらい塾、障害者訪問学級講師、史跡をめぐるウォーキング、家庭教育学級での啓発、学校体育施設の開放

（民間） 自治会活動、地域防災活動、各種ボランティア活動（社会福祉協議会）、ラジオ体操、ファミリーサポートセンター、公益社団法人日野市シルバー人材センター、日野青年会議所、老人クラブ活動

<2> 心とからだの健康づくり

生涯学習社会の実現には、市民一人ひとりが心身共に健康で元気に生活することが肝要です。市が進める「ヘルスケア・ウェルネス戦略」と連動した生涯学習活動を実施し、文化・スポーツの振興について関係機関と連携しながら市民の心身の健康増進と社会参加の促進を図ります。

(1) 各種健康施策の啓発・実施

いつまでも元気に自分らしく生活できるよう、生涯学習を通じた健康づくり

世界に先駆け「超少子高齢社会」を迎える現代日本において、生涯学習により人々が学び合い、助け合い、そして社会に貢献することによって健康寿命が延びていく社会にしていくことが期待されています。

健康に役立つ講座など直接的な活動だけでなく、生涯を通じて学び続けることで生きがいや居場所を持つような間接的な健康づくりにもつなげます。



楽・楽トレーニング体操

行動計画

- ① 学びあい・つながりあい情報サイトの開設
- ② ひの^{まなびと}学人ネットワーク会議の設立
- ③ 笑顔 あつまれ！発表会の開催

【関連する事業と今後の取組事例 (※)】

(市) 老人会連合会へのアプローチ、食育、各種ウォーキング、高齢者への就労支援、シルバー人材センターとの連携、官民連携食生活講座、さわやかウォーキング、さわやか健康体操、悠々元気体操教室、健康サポートルーム輝、楽・楽トレーニング体操、ミニ楽・楽トレーニング体操、歩きたくなるまちづくり、地域資源の再発見 (※)、市民の森ふれあいホールスポーツ&カルチャー教室、健康づくり推進員、介護サポーター

(教育委員会) ひのっ子シェフコンテスト、心の健康を考える講座、料理講座、食育、健康・自殺予防などテーマ別展示、個人でいつでも自由に利用できる図書館サービスの提供、デイサービスによる見学(主に民具)、郷土資料館の見学会や観察会の実施、史跡をめぐるウォーキング(つかつかウォーク)、家庭教育学級での啓発、学校体育施設の開放

(民間) ラジオ体操、NPO法人市民サポートセンター日野のおかずクラブ、がんチャリティ Walk ひの、JISSEN 桜風会、GEヘルスケアジャパンパートナーシップ協定

(2) 生涯スポーツ・文化芸術の振興

各種スポーツ及び文化芸術振興について関係機関との連携を図ります

平成26年度に策定された誰もが身近でスポーツを楽しみ、健康づくり施策との連携を推進するための「日野市スポーツ振興計画」と、日野市の芸術文化の振興を図るための方針としての「(仮称) 芸術文化の薫るまち日野 基本方針」との役割分担を明確にして、生涯学習としてのスポーツや文化・芸術の振興を図ります。

また、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツ・文化・芸術に親しみながら市民相互の交流が図られるような各種施策を展開します。



スポーツ・レクリエーションフェスティバル



市民文化祭

行動計画

- ② ひの学人^{まなびと}ネットワーク会議の設立
- ⑤ “学び創造” ネットワークの構築

【関連する事業と今後の取組事例(※)】

(市) 日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル、文化施設・体育施設の開放、HSS(日野スポーツクラブ)、赤レンガプロジェクト、グランドゴルフでの異世代交流、日野宿楽市楽座文化講座、芸術文化の薫るまちコンサート、市民会館文化事業協会(LIVE café in 赤レンガ)、市民体育大会、市民文化祭、ひのアートフェスティバル、小島善太郎記念館、スポーツ推進委員

(教育委員会) バラエティサロン(市内及び多摩地域在住の音楽家・文化人を発掘し公演を実施)、ニュースポーツを取り入れた講座、スポーツや文化芸術に関連するテーマ(国体・オリンピックなど)の図書展示による連携(※)、真慈悲寺をはじめとする各種調査研究活動の推進、学校体育施設の自主管理運営委員会の運営、展示発表の場の情報収集(※)

(民間) (一社)日野市体育協会、日野市文化協会、合唱サークル